

(様式1・小学校用①)

令和4年度 学 校 評 価 報 告

草加市立花栗南小学校
(令和5年2月22日作成)

1 学校教育目標 ○考える子 ・夢や志が持てる子 ・自ら学び、自ら考える子 ・最後まで粘り強くやり抜く子 ○思いやりのある子 ・自分と仲間を大切にする子 ・正しく行動のできる子 ・お互いの良さを認め合える子 ○体をきたえる子 ・健康や安全に関心をもてる子 ・自ら進んで体をきたえる子 ・楽しく運動に取り組む子	
2 重点目標・努力目標 1 一人ひとりの個に応じた教育を推進と確かな学力と生きる力の育成 2 心潤う生徒指導による豊かな心の育成 3 人権を大切にする教育の推進 4 体育的活動の充実と体力の向上の推進 5 安全・安心で美しく潤いのある教育環境の整備	3 前年度の成果と課題 成果 ○ICT活用の研究を通して、技術向上と授業改善が進んだ。 課題 ●特別な配慮・支援が必要な児童への支援体制をさらに充実させる。

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	B	○職員会議や打合せで共通理解・共通行動を図り、全職員一丸となり教育活動を実施できた。 ●働き方改革に向けた職員会議等の効果的な会議計画の充実を図る必要がある。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	A	○腰立てタイムやほめシャワーなど、中学校区で共通した取組が進んだ。 ○花栗中学校区3校合同研修会が行われ、模擬授業等を通して3校で取り組む活動を確認した。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○保護者の協力のもと、新型コロナウイルス感染症の対策を徹底できた。 ○全校で火災を想定した避難訓練が2年ぶりに実施され、緊急事態発生時の対応について確認できた。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	B	○倫理確立委員会等を通して、情報漏洩や個人情報の管理について職員の意識向上を図り、事故0を継続できた。 ●今後も施設の老朽化に対する速やかな修繕の対応が必要である。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	A	○感染対策を講じた上で、運動会や持久走大会の公開、授業参観等を実施することができた。 ○学校運営協議会が定期的に関われ、学校の様子を伝えることができた。
	⑥幼保小中を一貫した教育	・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	A	○花栗中学校の教員による外国語や家庭科の乗り入れ授業を行い、児童理解を図った。 ○感染症対策を講じながら、幼稚園との交流会を行うこともできた。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	B	<p>○多くの教科において授業時数を十分に確保して学習指導を行うことができた。</p> <p>●教員の働き方改革を加味した教育計画を作成する。</p>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	B	<p>○各学年、各教科の進捗状況を学期毎に学校全体で確認し、計画的に指導することができた。</p> <p>●ICTを活用し、更なる授業改善を行う。</p>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳的実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	B	<p>○外部指導者を招聘し、研修を行ったり、近隣の学校の授業研究会に参加したりして、道徳的実践力を高めることができた。</p> <p>○各教科との関連を意識した授業を進めてきた。</p>
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 各教科、道徳教育との関連 中学校との連携 	B	<p>○中学校教員の乗り入れ授業やALTとの英語でのやりとりにより、児童の外国語への意欲向上を図ることができた。</p> <p>●乗り入れ授業等、中学校との更なる連携を進めていく。</p>
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 児童会活動 	B	<p>○活動制限がある中でも、学校行事等ができる範囲で行うことができた。</p> <p>●児童の自主性や自己肯定感・自己有用感を育むための指導の充実をより一層図っていく。</p>
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	B	<p>○児童が興味関心に応じた学習を主体的に進め、学習活動が充実した。</p> <p>●児童や地域の実態に応じた指導計画や内容の精選を行うなど、学年間で系統的な指導改善を行う必要がある。</p>
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、児童理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	A	<p>○生徒指導上の問題が生じた際には、迅速に報告・連絡・相談を行い、組織で即日対応にあたることができた。</p> <p>○全職員で児童理解に取り組み、積極的な生徒指導を進められた。</p>
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 計画の立案 指導内容の充実 中学校との連携 啓発的経験の充実 家庭、地域との連携強化 	B	<p>○キャリアパスポートの活用により、自身の変容や成長を自己評価することができた。</p> <p>●総合的な学習の時間や特別活動を中心に、キャリア教育の一層の充実を図っていく。</p>
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	B	<p>○校内研修、巡回相談等の外部機関との連携等を効果的に実施し、効果的な指導に向けた共通理解が図れた。</p> <p>●児童の実態に応じた効果的な支援を充実させる。</p>
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	A	<p>○学校司書が常に環境を整え、子供たちが利用しやすい図書館経営を行った。</p> <p>○学区内に在住する文学作家のコーナーをなど、子供たちが本を身近に感じられる工夫を行った。</p>

⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> ・教育計画の作成 ・校内研修の充実 ・ICT機器の積極的な活用 ・情報モラル教育の推進 	B	<p>○タブレットや電子黒板などの機器を活用した授業を行う頻度が上がっている。</p> <p>●携帯電話の使い方を含め、児童の情報モラルの意識を向上させる。</p>
⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の策定 ・各教科との関連 ・人権感覚の育成 ・校内研修の充実 	B	<p>○人権作文、標語など学校全体で取り組むことができた。</p> <p>●人権教育の充実を目指し、全体計画をもとに、様々な機会を通じて啓発していく。</p>

(様式1・小学校用③)

草加市立花栗南小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	あいさつじまん	・あいさつ	B	<p>○代表委員を中心に地域の方々とあいさつ運動が実施された。</p> <p>●校外においてもあいさつができる児童を育成する。</p>
	どくしょじまん	・読書	A	<p>○校内でビブリオバトルの実施、学校応援団による読み聞かせ等、読書活動を充実させることができた。</p> <p>○学区内に在住する文学作家から本を寄贈された際、図書委員との贈呈式を行い、本への興味をもたせた。</p>
	そうじじまん	・掃除	B	<p>○感染症対策を講じた掃除から、徐々に通常の掃除に切り替え、子供たちが一生懸命取り組む姿が見られるようになってきた。</p> <p>●清掃用具の使い方を指導し、そうじじまんの花栗南小学校を再興する。</p>

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

- ・保護者による「学校教育アンケート」において、調査した17項目中12項目で肯定的な評価をいただいた。特に、子どもたちの登下校の安全に関する項目については、98.7%が肯定的な評価であった。
- ・昨年度の学校評価をもとに、欠席、遅刻の連絡を連絡フォームで行うよう改善した。
- ・これまで給食費のみであった口座振替を教材費やPTA会費にも適用し、事故防止及び職員負担軽減を行った。
- ・昨年度やむを得ず中止した学校行事なども実施方法を工夫したり新型コロナウイルスの感染対策を講じたりしながら手話校歌や芸術鑑賞会を実施し、子供たち活動を充実させることができた。
- ・施設の老朽化の改修や学習環境の整備については、多くの箇所を整備することができた。

6 次年度の改善策

- ・タブレットをはじめとするICT機器の活用について研究を進めるとともに、情報モラル教育についても指導を進めていく。
- ・働き方改革及び業務改善をさらに進め、教材研究、授業の充実から学力の向上につなげる。
- ・幼保小中を一貫した教育の更なる推進を図るため、中学校区の各校・各園が共有することにより、教職員間の共通理解を深めながら、計画的に具体の取組を継続していく。
- ・スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、関係機関との連携を密にして、組織的に対応していくことにより、問題行動やいじめの未然防止、早期発見、早期解決や不登校の解消につなげていく。